

2019年3月期 通期決算説明補足資料

➤ (2018年4月1日～2019年3月31日)



株式会社LIXILビバ

2019年5月7日



1. 決算ハイライト

・・・ P 02

2. 2020年3月期業績見通し

・・・ P 11

2019年3月期 通期 決算概要

14期連続増収・最高益更新（営業利益）

組織再編

経営資源の有効活用、経営効率の更なる向上を図るため、2018年4月1日付で連結子会社4社を吸収合併。

店舗の状況 ～当期出店7店舗～ 都内出店強化

「ハウスデコ甲子園店」(1,623㎡、兵庫県西宮市)、「**ビバホーム田無芝久保店**」(2,701㎡、東京都西東京市)、
「スーパービバホーム佐賀店」(10,982㎡、佐賀県佐賀市)、「スーパービバホーム磐田店」(8,469㎡、静岡県磐田市)、
「スーパービバホーム岡垣店」(9,853㎡、福岡県岡垣町)、「**スーパービバホーム東久留米店**」(10,137㎡、東京都東久留米市)、
「**ビバホーム豊島5丁目店**」(5,820㎡、東京都北区)→**総店舗数は96店舗（2019年3月31日時点）**

ホームセンター事業

ホームセンター事業は、積極的な出店による新店の売上寄与、リフォーム商材の売上拡大。

◆リフォーム関連…好調

＜リフォーム商材＞「ワークスタイルショップ設置」…資材・工具からワークウェアまでのトータルな提案を実現。

夏季猛暑によるエアコン・工業扇が好調、一部地域の災害にともなう建築資材・防災用品の需要が増加。

＜リフォームサービス＞ 工事を伴うリフォームサービスは9月に大型台風などで落ち込んだものの、10月以降は回復基調が継続。

◆ホームセンター商材…減収

天候不順の影響大、ガーデン不振、暖冬によりインテリア・家電不振。台風による影響大。

◆一般商材…減収

猛暑により扇風機・レジャー用品が好調の一方で、殺虫剤が大幅に不振。暖冬により灯油・防雪商品が不振。

デベロッパ事業

既存モールの空き区画の改善による収益増。

P/L (要約)

販売施策の見直しにより、売上総利益率が0.6ポイント改善
 新店7店舗の出店コストを吸収し、営業利益率6.0%、売上高・営業利益・経常利益は前年プラス

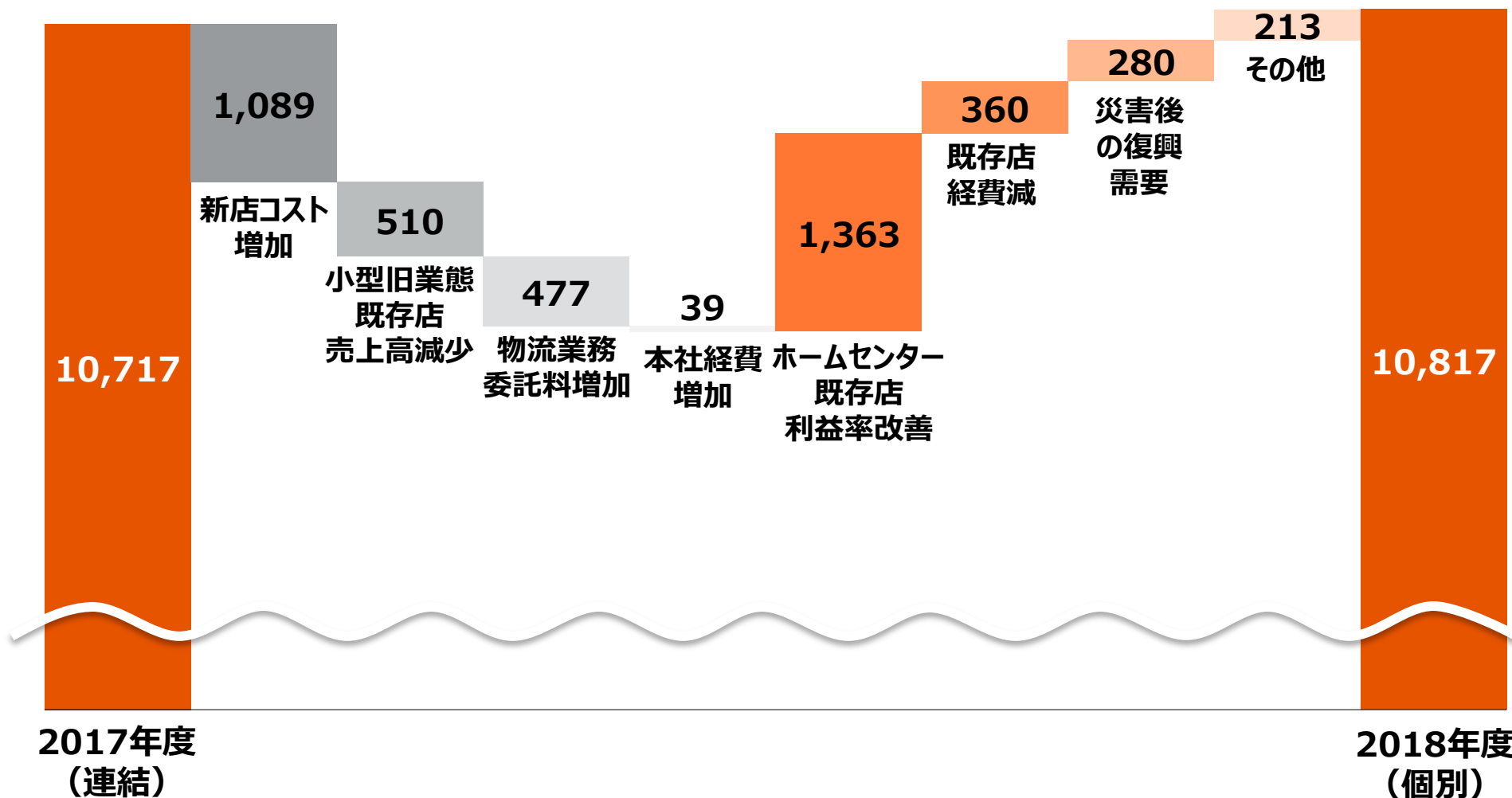
(単位:百万円、%)

	2017年度(連結)		2018年度(個別)				
	金額	売上比	金額	売上比	前期との差額	前期比	予想比
売上高	177,953	100.0	180,926	100.0	2,972	101.7	99.0
売上総利益	57,257	32.2	59,430	32.8	2,172	103.8	100.1
営業収入	6,857	3.9	6,904	3.8	47	100.7	101.7
営業総利益	64,114	36.0	66,334	36.7	2,220	103.5	100.3
販管費	53,396	30.0	55,517	30.7	2,120	104.0	100.3
営業利益	10,717	6.0	10,817	6.0	99	100.9	100.3
経常利益	10,033	5.6	10,112	5.6	78	100.8	99.5
当期純利益	6,708	3.8	※1 18,442	10.2	11,733	274.9	99.6
「抱合せ株式消滅差益」を除いた実質当期純利益	-	-	※2 6,698	3.7	▲10	99.8	99.0

営業利益 増減分析

取引形態の見直し、PB商品の取組み等による売上総利益率の改善が貢献

(単位:百万円)



商品別売上高およびセグメント情報

リフォーム関連（商材＋サービス）が牽引し増収、リフォーム関連の構成比は39.6%に拡大
 主力SVH既存店は通期前期比100.3%を確保（ホームセンター事業売上構成比約8割）
 リフォーム関連は既存店前期比104.3%と好調に推移

(単位:百万円、%)

	2017年度（連結）		2018年度（個別）			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	(参考) 既存店 前期比
ホームセンター事業						
売上高	177,953	100.0	180,926	100.0	101.7	99.7
リフォーム関連（商材＋サービス）	67,263	37.8	71,579	39.6	106.4	104.3
ホームセンター（HC）商材	65,687	36.9	65,028	35.9	99.0	97.1
一般商材	43,042	24.2	42,424	23.4	98.6	96.5
その他（通販・クラフトホビー）	1,960	1.1	1,894	1.0	96.7	96.7
営業収入	606	-	591	-	97.5	-
営業収益（売上高＋営業収入）…①	178,560	-	181,518	-	101.7	-
デベロッパー事業						
営業収入……………②	6,250	-	6,312	-	101.0	-
営業収益合計（①＋②）	184,810	-	187,830	-	101.6	-

ビバホーム ※ SVHのリフォーム関連の前期比 = 105.4%

販売費及び一般管理費の状況

出店に伴い、販売費・管理費が大きく増加

販売費の主な増加は物流業務委託料、管理費の主な増加はIT関連費用・出店旅費交通費

(単位:百万円、%)

	2017年度 (連結)		2018年度 (個別)		
	金額	売上比	金額	売上比	前期比
人件費	23,338	13.1	24,063	13.3	103.1
販売費	6,461	3.6	7,113	3.9	110.1
店舗費	20,585	11.6	20,918	11.6	101.6
賃借料	11,354	6.4	11,463	6.3	101.0
減価償却費	5,181	2.9	5,107	2.8	98.6
その他店舗費	4,050	2.3	4,347	2.4	107.3
管理費	3,010	1.7	3,421	1.9	113.6
販売費及び一般管理費	53,396	30.0	55,517	30.7	104.0

店舗数推移

今期、大型店4店舗を含む7店舗を出店し、業容を拡大(新規エリア・佐賀県・静岡県・福岡県)

	前期末店舗数	期中出店数	期中退店数	当期末店舗数
スーパービバホーム (SVH)	41	+4	0	45
ニュービバホーム (NVH)	10	+2	0	12
ビバホーム (VH)	36	0	0	36
ハウステコ (新業態)	1	+1	0	2
その他 (VC'S単独店)	1	0	0	1
合計	89	+7	0	96
うち、ビバモール (VM)	14	0	0	14

設備投資・減価償却費

(単位:百万円)

	2017年度 (連結)	2018年度 (個別)
設備投資 ※	4,810	11,462
減価償却費	5,181	5,107

B/S (要約)

総資産 前期末比3.2%増加 現預金の減少は、主に土地建物取得及び消費税納付の増加

(単位:百万円、%)

	2018年3月末(連結)		2019年3月末(個別)		
	金額		金額	増減額	増減率
現預金	11,488		7,870	▲3,618	▲31.5
売掛金	2,640		3,170	530	20.1
商品	37,496		39,727	2,231	6.0
その他流動資産	5,452		6,805	1,352	24.8
固定資産	115,721		120,759	5,038	4.4
総資産	172,799		178,333	5,533	3.2
負債	113,354		115,468	2,113	1.9
純資産	59,444		62,864	3,420	5.8

総資産・・・有形固定資産 + 5,413、現預金 ▲3,618、商品 + 2,231

負債・・・買掛金・電子記録債務 + 4,593、未払費用・未払消費税等を含むその他(流動負債) ▲3,946、
資産除去債務 + 1,090、リース債務 ▲392

純資産・・・利益剰余金 + 4,864、自己株式 ▲1,499

経営指標およびキャッシュ・フロー

ROEは、純資産の増加により1.9pt減少したが、10%超を維持
 2018年度営業キャッシュ・フローの一時的な前年増減があったため減少

- ・未払消費税差額▲2,444百万円
- ・リース物件の立替金の期ずれ決済差額▲2,520百万円
- ・未収金の回収+1,041百万円（SVH伊丹店の敷金保証金）

(単位:百万円)

	2017年度 (連結)	2018年度 (個別)	前期比または 増減額
営業利益	10,717	10,817	+0.9%
ROE	12.9% —	※1 30.2% ※1、※2 11.0%	+17.3pt ▲1.9pt
ROA ※3	6.0%	5.8%	▲0.3pt
自己資本比率	34.4%	35.3%	+0.9pt
営業キャッシュ・フロー	13,141	9,872	▲3,268
投資キャッシュ・フロー	▲4,493	▲8,847	▲4,354
財務キャッシュ・フロー	▲282	▲4,644	▲4,361

1. 決算ハイライト

・・・P02

2. 2020年3月期業績見通し

・・・P11

業績予想

今期は昨年と同じ7店舗出店（内訳は全て大型店、更にモールタイプ3施設を含み積極投資拡大）成長加速に向けた先行投資を行うため、単年度は減益見込み、増収は継続（15期連続）
今期既存店の売上高前期比は100.5%と想定し、（前期は99.7%）増収幅が拡大

（単位：百万円、%）

	2018年度		2019年度		
	金額	売上比	金額	売上比	前期比
売上高	180,926	100.0	193,000	100.0	106.7
売上総利益	59,430	32.8	64,123	33.2	107.9
営業収入	6,904	3.8	8,072	4.2	116.9
営業総利益	66,334	36.7	72,195	37.4	108.8
販管費	55,517	30.7	62,895	32.6	113.3
営業利益	10,817	6.0	9,300	4.8	86.0
経常利益	10,112	5.6	8,615	4.5	85.2
当期純利益	18,442	10.2	5,183	2.7	28.1
「抱合せ株式消滅差益」を除いた実質当期純利益	※ 6,698	3.7	-	-	77.4

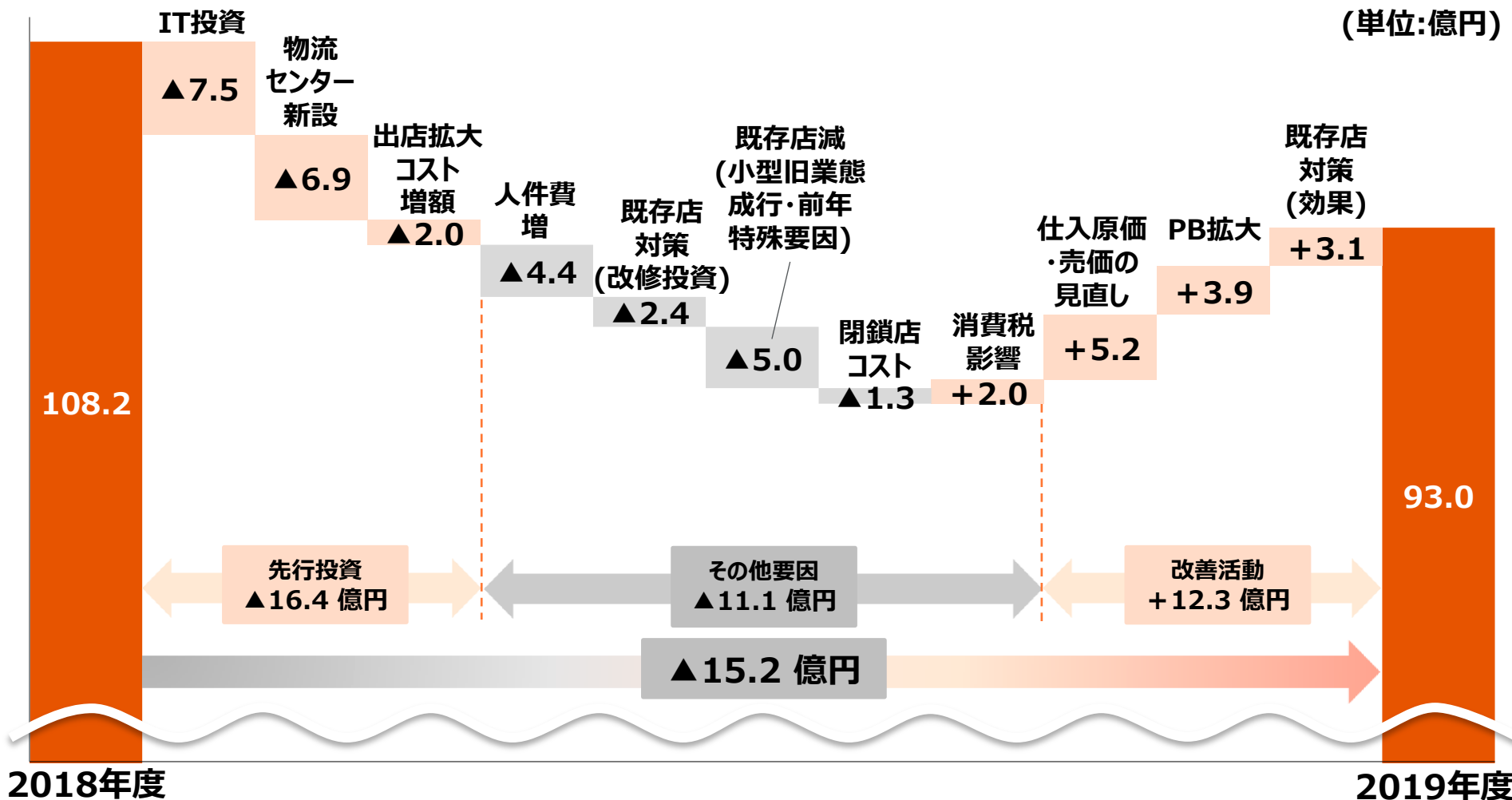
営業利益予想 要因別項目

(単位:億円)

内訳		増減額
	IT投資費用	▲7.5
	物流センター新設	▲6.9
	出店拡大コスト増額（大型出店の増加）	▲2.0
先行投資	小計	▲16.4
	人件費増	▲4.4
	既存店対策（改修投資）	▲2.4
	既存店減（小型旧業態成行・前年特殊要因）	▲5.0
	閉鎖店コスト	▲1.3
	消費増税影響	+2.0
その他要因	小計	▲11.1
	仕入原価・売価の見直し	+5.2
	P B 拡大	+3.9
	既存店対策（効果）	+3.1
改善活動	小計	+12.3
合計		▲15.2

営業利益予想 増減分析

先行投資による単年度の営業利益の減少を見込む



首都圏および主要都市圏でのドミナント出店 7店舗全てが大型店（うち、ビバモール3施設を含む）

スーパービバホーム	予定時期	所在地	総売場面積
SVH 四日市泊店	2019年 4月	三重県	約12,200m ²
SVH 志摩店(仮称) ※	2019年 5月	福岡県	約8,500m ²
SVH 小田原店(仮称)	2019年 9月	神奈川県	約8,400m ²
SVH 大木店(仮称) ※	2019年10月	福岡県	約9,500m ²
ビバモール	予定時期	所在地	総売場面積
VM 本庄中央(仮称)	2019年12月	埼玉県	約25,200m ²
VM 甲斐甲府(仮称)	2020年 2月	山梨県	約16,700m ²
VM 東松山(仮称)	2020年 3月	埼玉県	約23,000m ²

SVH 四日市泊店

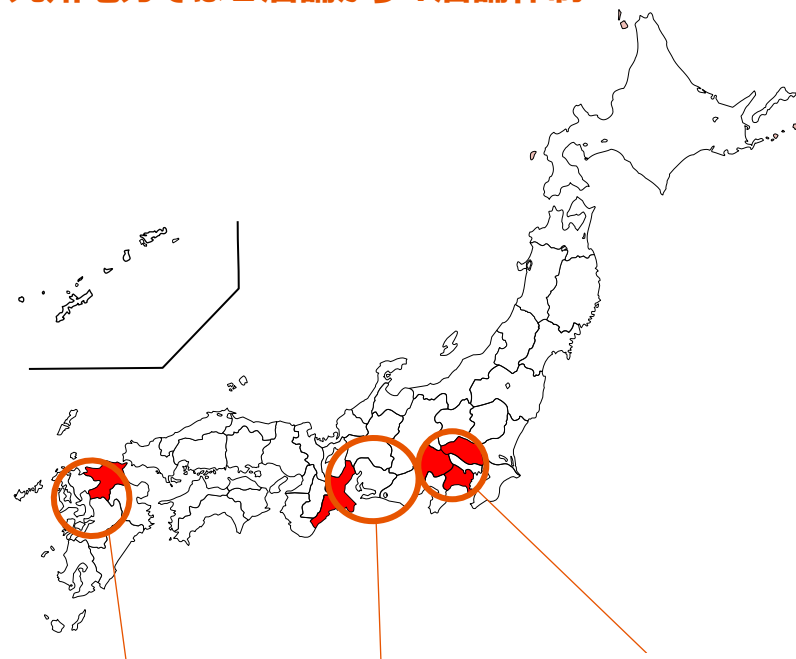


VM 本庄中央(仮称)



ドミナントの強化

- ・首都圏では山梨県を追加、ビバモールを3施設追加
- ・東海地方では三重県四日市市を追加
- ・九州地方では2店舗から4店舗体制へ



九州地方での
ドミナント強化

首都圏での
ドミナント強化

東海地方での
ドミナント強化

ESGに関する取り組み

国際貢献: UNHCR ※1

店舗と一体となった支援活動



環境マネジメント規格 ISO14001の取得

環境に配慮した事業展開



地域貢献: コミュニティダイアログ

ビバホームの店舗近隣の住民・行政・警察・消防・学校・NPOが一同に会して地域をより良くする対話活動



健康経営優良法人2019ホワイト500 に認定

従業員が心身共に健康で、いきいきと働ける職場づくりを推進

働きやすい環境作りの促進

- ◎ 年間休日の増加 (年間113日⇒119日へ)
- ◎ 有給休暇の取得の推進 (寄り添い休暇及び半日単位有休の新規導入)
- ◎ 育児時短勤務の拡大 (旧: 3歳未満 ⇒ 小学校卒業まで)
- ◎ フレックスタイム制の導入 (本社部門)
- ◎ 定時退社日 (ノー残業デー) の設定 (本社)
- ◎ サードクルーの定年の再延長 (65歳 ⇒ 68歳 ⇒ 70歳)
- ◎ 傷病・介護有給休暇の拡大 (積立有休日数最大40日まで)
- ◎ 労使協働による「働き方改革プロジェクト」取り組みを継続中



積極的な成長投資と株主還元

2019年3月期 9円増配（1株当たり配当額：年間50円）
 2020年3月期 中間配当実施、年間50円配当を維持予定

2020年3月期 配当方針

	19年3月期	20年3月期
1株当たり 当期 純利益	414.79円 ※1 <u>150.65円</u> (実績)	118.16円 (予想)
1株当たり 配当金	41円→ 50円 (増配予定)	25円 + 25円 = 50円 (中間 + 期末 = 年間) (予想)
配当性向 (目安)	12.1% ※1 <u>33.2%</u>	42.3%

成長投資と株主還元

成長投資

継続的な企業価値向上に向けた成長を
 達成すべく新規出店投資を本格的に加速

株主還元

成長投資とのバランスを重視
 配当性向目標：30% ※2

免責事項

本資料は株式会社LIXILビバ（以下「当社」といいます。）及び当社グループの企業情報の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部又は一部を当社グループの承諾なしに公表又は第三者に伝達することはできません。

本資料のうち、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、実際の結果は本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

なお、本資料における記述は本資料の日付（又はそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。本資料の内容は、事前の通知なく変更されることがあります。

また、本資料に記載されている当社グループの企業情報以外の情報は、当社が公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

お問い合わせ先：IR広報室

TEL 048-610-0641（田中、小林）

Eメール vivair@lixil.com